



	・相談支援事業所 こもれび	相談支援専門員 寺沢 正旭 計6名
傍聴者	・新潟県佐渡地域振興局健康福祉環境部	地域保健課 課長代理 加藤 花恵
事務局	・社会福祉課 ・総合福祉相談支援センター	課長 知本 政則 課長補佐 兵庫 研司 センター長 池田 修 相談支援係長 海老 由紀 精神保健福祉士 塚本 あすか 社会福祉士 出崎 丈陽 計6名
資料	・令和4年度第2回佐渡市地域自立支援協議会会議次第 ・資料1 各専門部会作業状況報告 ・資料2 令和4年度 障がい者福祉に関するアンケート調査結果報告書 ・資料3 令和4年度佐渡市地域自立支援協議会構成機関	
進行及び協議内容	<p>1. 開会</p> <p><b>【事務局進行】</b></p> <p>&lt;配付資料の確認&gt;</p> <p>&lt;社会福祉課長あいさつ&gt;</p> <p>&lt;座長の選出&gt;</p> <p>「佐渡市地域自立支援協議会開催要項第4条1項により、参加者の互選によって定められるとされている。ここで参加者のご意見をいただきたい。」</p> <p>「事務局に一任（参加者より）」</p> <p>「事務局案として、座長を佐渡市手をつなぐ育成会 会長 佐藤会長にお願いしたい。」</p> <p>「異議なし（参加者より）」</p> <p>&lt;座長に議事進行依頼&gt;</p> <p>&lt;座長よりあいさつ&gt;</p> <p><b>【座長進行】</b></p> <p>2. 議題</p> <p>(1) 令和4年度佐渡市自立支援協議会の各専門部会の作業状況報告について</p> <p>&lt;事務局より一括説明&gt;</p> <p>&lt;質疑・意見&gt;</p> <p>社会福祉法人佐渡福祉会 弾正理事長</p> <p>「佐渡障がい福祉フォーラムで講演があった全ての人と同じ空間で生活するごちゃまぜの考え方が今の佐渡に必要なことである。ごちゃまぜのま</p>	

ちづくりを実現するために、継続して検討していくのか。」

事務局説明

「佐渡に、ごちゃまぜのまちづくりの良いところを取り入れることができるか、今後関係者と一緒に検討していきたいと考えている。」

社会福祉法人佐渡福社会 弾正理事長

「講師が佐渡市も新潟県もごちゃまぜのまちづくりに興味を示していると言っていたがいかがか。」

事務局説明

「今回は、障がい福祉フォーラムでの研修テーマの一つとして講演をしていただいた。」

佐渡総合病院 岡崎副院長

「強度行動障害は、大きな問題を小さな課題に分け、優しく手伝って一緒に成功体験を積み重ねることで解決できる。困っていた問題行動が落ち着くとみんなが幸せになる。そういった具体的な方法、解決のための技術があるということを広く支援者に伝えたい。知的・身体障がい部会において、構造化がクールダウンの場として有効であったと記載されているが、簡単に説明願いたい。」

知的・身体障がい部会説明

「以前から部会で分析しているが、本人が不調になる要因に着目して対応することで、周囲が起こりうることを予測しながら支援している。」

## (2) 令和4年度 障がい者福祉に関するアンケート調査結果報告書

<事務局より一括説明>

<質疑・意見>

佐渡総合病院 岡崎副院長

「総論的には、利用しているサービスの満足度は、前回よりも増加している。公助は進んでいるが、公助は税金であって有限である。一方で、共助、互助はお互いの自発的な助け合いなので無限である。元気な高齢者の方々からも、お互いに助け合うよろこびをつながりの中から産み出すことができる。これからは、「ごちゃまぜのまちづくり」にあったように、共助、互助が自然発生するような全員参加の仕組みづくりを最優先してもらいたい。使えるなら、限りある公助もそういったところに使いたい。」

## (3) 佐渡市自立支援協議会構成機関について

<事務局より説明>

「令和6年度に向けて佐渡市自立支援協議会専門部会の再編を検討したい。」

<質疑・意見なし>

### 3. その他

<質疑・意見>

佐渡総合病院 岡崎副院長

「療育支援部会より放課後等デイサービスが不足しているとの話があった。現場を見なければ不明な情報も多く、他市に比べ放課後等デイサービスが不足している現状を見ていただき問題意識を共有していただければと思う。」

民生委員児童委員協議会 濱田理事

「デイサービスの運営がひっ迫しており、次年度から2事業所が縮小されるとの情報を得た。身近にあった施設がなくなることにより発生する高齢者の方々をどうフォローしていくか。佐渡市として社会福祉協議会の支援や地域住民が何を望んでいるかを掘り下げて欲しい。」

事務局説明

「安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域福祉を推進するにあたり、社会福祉協議会と一緒に取り組んでいる。」

佐渡総合病院 岡崎副院長

「ひきこもり状態にある方々に対し、デジタルやSNSを活用したアウトリーチを検討していただきたい。」

座長

「障がいを持つ子の親として、障がいに対するご理解とご協力をいただき、心から感謝している。」

<座長よりあいさつ>

<座長終了>

#### 【事務局進行】

### 4. 閉会

次年度は計画策定の関係で、例年より回数を増やし開催する予定。

備考